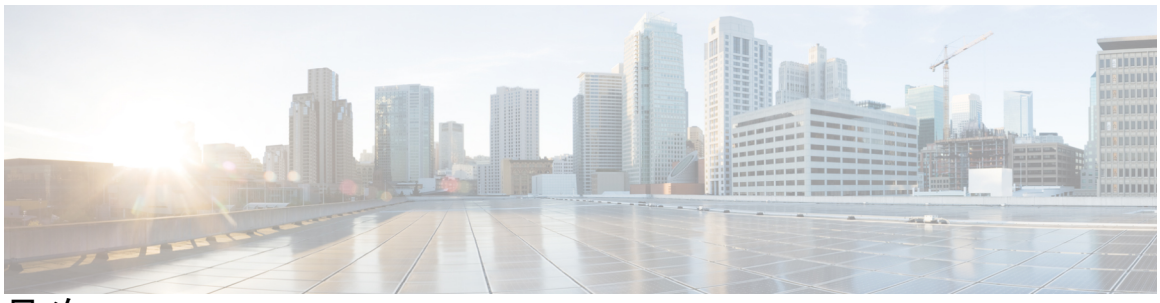
Cisco Identity Services Engine リリース 2.3 スポンサー ポータル ユーザ ガイド

初版：2017 年 7 月 28 日

シスコシステムズ合同会社
〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
http://www.cisco.com/jp
お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター
0120-092-255 （フリーコール、携帯・PHS含む）
電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00
http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/



目 次

第 1 章 スポンサー ポータル ユーザ ガイド 1

ゲストのネットワーク アクセス 1

スポンサー ポータル 2

スポンサー ポータルへのサインオン 2

アカウントのロックによりサインオンできない 3

第 2 章 ゲスト アカウントの作成 5

スポンサー ポータルの [アカウントの作成（Create Accounts）] ページ 5

既知のゲスト アカウントの作成 5

ランダム ゲスト アカウントの作成 6

ゲスト アカウントのインポート 8

ゲスト パスワードのプライバシー 9

アカウント設定の作成 10

第 3 章 ゲスト アカウントの管理 15

スポンサー ポータルの [アカウントの管理（Manage Accounts）] ページ 15

ゲスト アカウントの編集 16

ゲスト パスワードの再送信 16

ゲスト アカウント有効期間の延長 17

中断されたおよび期限切れのゲスト アカウント 18

ゲスト アカウントの中断 18

ゲスト アカウントの削除 19

ゲスト パスワードのリセット 19

ゲスト アカウントの再開 20
[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページの詳細 21
アカウントの状態の管理 22

第 4 章 保留中のゲスト アカウント 25
スポンサー ポータルの [保留中のアカウント（Pending Accounts）] ページ 25
保留中のアカウントの承認 25
保留中のアカウントの拒否 26
[保留中のアカウント（Pending Accounts）] ページの詳細 27
保留中のアカウントの状態 27

第 5 章 通知 31
ランダムおよびインポートされたゲスト アカウント作成時の通知 31
既知のゲストへのアカウント詳細の提供 32
ランダム ゲスト アカウント詳細の表示および提供 33
インポートされたゲスト アカウント詳細の表示および提供 34

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（ www.cisco.com/jp/go/safety_warning/ ）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system.All rights reserved.Copyright © 1981, Regents of the University of California.

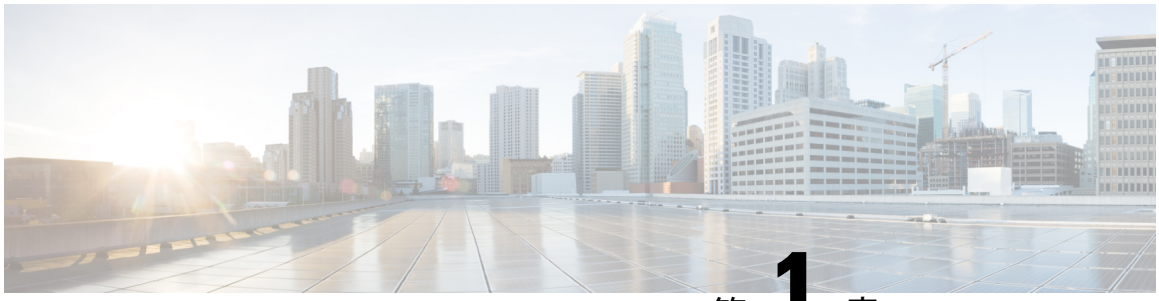
ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワークトポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries.To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: http://www.cisco.com/go/trademarks.Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners.The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company.(1110R)

© 2015–2017 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



第 1 章

スポンサー ポータル ユーザ ガイド

- ゲストのネットワーク アクセス （1 ページ）
- スポンサー ポータル （2 ページ）
- スポンサー ポータルへのサインオン （2 ページ）
- アカウントのロックによりサインオンできない （3 ページ）

ゲストのネットワーク アクセス

ラップトップ、タブレット、携帯電話などのモバイルデバイスの使用と依存度が増加するにつれ、どこからでもインターネットにアクセスできることは当たり前と見なされるようになりました。ただし、企業ネットワークへのアクセスには、地元のカフェからの無料の Wi-Fi 以上のセキュリティが必要です。ネットワーク セキュリティは、企業の機密保持およびデータ整合性の維持に重要です。ネットワーク セキュリティは、認証されていないユーザによる会社のネットワークへのハッキングを防止します。

企業のネットワークを保護し、承認されたユーザのみアクセス可能にするには、Cisco Identity Services Engine（ISE）ゲスト サービスを使用します。Cisco ISE は、訪問者、コントラクタ、コンサルタント、顧客などの承認されたゲストのみがネットワークにアクセスできるようにします。

スポンサーとしての役割

スポンサーは、スポンサー ポータルを使用し、組織への承認された訪問者のゲスト アカウントを作成および管理する責任を負います。これらのアカウントによって、訪問者は企業のネットワークやインターネットにアクセスできます。これらのアカウントを作成する場合は、訪問者にネットワーク アクセスを提供するための企業のガイドラインに従います。Cisco ISE は、監査およびレポート目的でゲストのプロセス全体を保存します。企業では、承認された訪問者にのみネットワーク アクセスが許可されていることを確認するために、この情報を使用できます。

スポンサー ポータル

スポンサー ポータルを使用して、承認ユーザ用の一時アカウントを作成し、企業ネットワークまたはインターネットにセキュアにアクセスできるようにします。アカウント作成後、スポンサー ポータルを使用して、アカウント詳細をゲスト用に印刷したり、電子メールまたはテキスト メッセージでゲストに送信することができます。また、スポンサー ポータルのページ上部にあるタブを使用して、アカウントを中断、延長、および削除したり、ゲストのネットワークアクセスを承認または拒否することもできます。

- [アカウントの作成（Create Accounts）]：アカウント グループを生成するか、シスコ提供のテンプレートを使用してスプレッドシート（CSV）からアカウントをインポートすることで、ゲスト アカウントを個別に作成します。
- [アカウントの管理（Manage Accounts）]：ゲスト アカウントを編集、削除、中断、再開、および延長します。ゲストにアカウント詳細を再送信します。
- [保留中のアカウント（Pending Accounts）]：選択したゲスト アカウントを承認または拒否します。
- [通知（Notices）]：多数のゲスト アカウントを作成または管理する際に、バックグラウンド動作のステータスを確認します。

システム管理者がスポンサー アカウントの機能を設定するため、スポンサー ポータルで使用可能なすべての機能にアクセスできるとは限りません。

関連トピック

アカウントのロックによりサインオンできない （3 ページ）

スポンサー ポータルへのサインオン

スポンサー ポータルは、承認された訪問者のためにゲスト アカウントを作成する場合に使用する Web ベースのポータルです。スポンサー ポータルにサインインすると、システム管理者が設定した非アクティブ期間が過ぎた後、自動的にログアウトします。

始める前に

システム管理者からスポンサー ポータル URL およびユーザ名とパスワードを取得します。

ステップ 1 Web ブラウザを開き、システム管理者から提供されたスポンサー ポータルの URL を入力します。

管理者は、この URL をカスタマイズしますが、通常は次のような形式になっています。
https://*ipaddress:portnumber*/sponsorportal/PortalSetup.action?portal=portalID または
https://sponsorportal.yourcompany.com

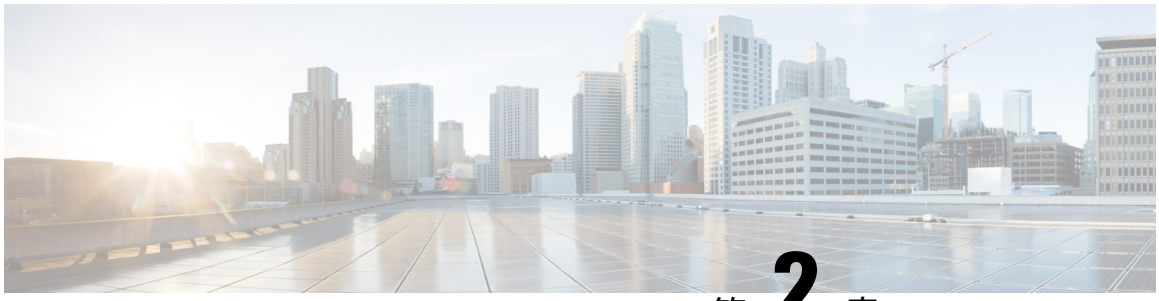
ステップ 2 ユーザ名とパスワードを入力し、[サインオン（Sign On）] をクリックします。

ステップ 3 スポンサー ポータルにログインする前に、企業ネットワークの利用規約に同意することを求められた場合は、[同意（Accept）] をクリックします。

デスクトップに正常にログインすると、スポンサー ポータルのホーム ページである [アカウントの作成（Create Accounts）] ページが表示されます。モバイル デバイスからサインオンすると、ウェルカム ページが表示されます。表示されない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

アカウントのロックによりサインオンできない

デフォルトで、スポンサーアカウントのパスワードを5回連続で誤って入力した場合、スポンサー ポータルはユーザをシステムから2分間一時的にロックします。その後、追加で試行できますが、設定された時間内には、再びロックされるまでに試行できる回数は1回のみとなります。システム管理者は、このデフォルト設定を変更して、一時的にアカウントがロックされるまでに誤って試行できる回数とロックされる時間を増減できます。



第 2 章

ゲスト アカウントの作成

- スポンサー ポータルの [アカウントの作成（Create Accounts）] ページ （5 ページ）
- 既知のゲスト アカウントの作成 （5 ページ）
- ランダム ゲスト アカウントの作成 （6 ページ）
- ゲスト アカウントのインポート （8 ページ）
- ゲスト パスワードのプライバシー （9 ページ）
- アカウント設定の作成 （10 ページ）

スポンサー ポータルの [アカウントの作成（Create Accounts）] ページ

[アカウントの作成（Create Accounts）] ページを使用して、次の承認された訪問者のアカウントを作成できます。

- 姓、電子メール アドレス、電話番号などの個人情報を使用できるゲスト。
- 個人情報を使用できないゲスト、または複数のアカウントをすぐに作成する必要がある場合のゲスト。
- インポート可能なファイル形式で外部データベースで情報を使用できるゲスト。

既知のゲスト アカウントの作成

個人情報を使用できるゲストのための個別アカウントを 1 アカウントずつ作成できます。

ステップ 1 [アカウントの作成（Create Accounts）] ページで、[既知（Known）] をクリックします。

システム管理者は、このページにどのフィールドを表示するか、およびゲスト アカウントを作成する場合にどのフィールドを必須とするかを設定します。一部のフィールドは必須（*が付いている）で、変更可能なデフォルトの情報が表示されます。

ステップ 2 ゲストに割り当てる [ゲスト タイプ（Guest Type）] を保持または更新します。

さまざまなゲストのタイプとそのアクセス権限は、システム管理者が定義します。

選択したゲスト タイプについて、ゲストがネットワークに同時に接続できるデバイスの最大数、およびネットワーク アクセスの最大時間が表示されます。

ステップ 3 表示されていて必要な場合は、ゲストの個人情報（ユーザ名を作成するための**姓**、**名**、または**電子メール アドレス**など）を入力します。

入力した個人情報は、ユーザ名の生成に使用されます。入力しない場合、ユーザ名はシステム管理者が設定したユーザ名ポリシーに従ってランダムに生成されます。

ステップ 4 必要に応じて必須設定のデフォルトを保持または更新し、その他のフィールドに情報を入力します。

システム管理者は、[言語（Language）]、[SMS プロバイダー（SMS Provider,）]、[場所（Location）]、[SSID] に対して複数選択を設定できます。　ただし、選択肢が 1 つのみ指定されている場合、それは表示されず、ゲストアカウントを作成するときに自動的に割り当てられます。アカウントが作成された後、ゲストアカウント詳細でこの選択を確認できます。

（注）　アカウント期間を設定する場合、定義する開始時刻および終了時刻は、選択した場所のタイムゾーンで適用できます。

ステップ 5 [作成（Create）] をクリックして、ゲスト アカウントを作成します。
[アカウント情報（Account Information）] ダイアログ ボックスに、ゲスト ユーザ名およびパスワードを含むアカウント詳細が表示されます。

次のタスク

これらの機能を使用できる場合は、ゲストに対してアカウント詳細を電子メールまたは印刷で通知できます。また、システム管理者がこの機能を有効にしている場合は、ゲストにアカウント詳細をテキスト メッセージで通知することもできます。

関連トピック

ゲスト パスワードのプライバシー （9 ページ）
アカウント設定の作成 （10 ページ）

ランダム ゲスト アカウントの作成

今後の使用に備えて、複数のランダム ゲスト アカウントのセットを事前に作成し、詳細を個別に記録し、システムに保存しておくことができます。たとえば、ユーザが、定期的にゲストアカウントを配布する必要がある Lobby Ambassador である場合、これらの一般的なランダムに作成されたアカウントを使用することで時間を節約できます。

ステップ 1 [アカウントの作成（Create Accounts）] ページで、[ランダム（Random）] をクリックします。

システム管理者は、このページにどのフィールドを表示するか、およびゲスト アカウントを作成する場合にどのフィールドを必須とするかを設定します。一部のフィールドは必須（*が付いている）で、変更可能なデフォルトの情報が表示されます。

ステップ 2 ゲストに割り当てる [ゲスト タイプ（Guest Type）] を保持または更新します。

さまざまなゲストのタイプとそのアクセス権限は、システム管理者が定義します。

選択したゲスト タイプについて、ゲストがネットワークに同時に接続できるデバイスの最大数、およびネットワーク アクセスの最大時間が表示されます。

ステップ 3 作成する [アカウントの数（Number of Accounts）] を入力します。

表示される一度に作成可能なランダム ゲスト アカウントの最大数は、システム管理者が設定します。

ステップ 4 システム管理者による設定に基づいて、各アカウント名に追加する、事前定義された [ユーザ名のプレフィクス（Username Prefix）] を入力、編集、または使用できます。

ユーザ名の残りの部分は、システム管理者が設定したユーザ名ポリシーに従ってランダムに生成されます。

ステップ 5 必要に応じて必須設定のデフォルトを保持または更新し、その他のフィールドに情報を入力します。

システム管理者は、[言語（Language）]、[場所（Location）]、[SSID] に対して複数選択を設定できます。ただし、選択肢が 1 つのみ指定されている場合、それは表示されず、ゲスト アカウントを作成するときに自動的に割り当てられます。アカウントが作成された後、ゲスト アカウント詳細でこの選択を確認できます。

（注） アカウント期間を設定する場合、定義する開始時刻および終了時刻は、選択した場所のタイムゾーンで適用できます。

ステップ 6 [作成（Create）] をクリックして、指定された数のランダム ゲスト アカウントを作成します。
次のものを作成した場合：

- 50 未満のランダム アカウント：[アカウント情報（Account Information）] ダイアログ ボックスに、作成した複数のアカウントに対してランダムに生成されたユーザ名とパスワードが表示されます。
- 50 を超えるランダムアカウント：メッセージによって、アカウントがバックグラウンドで作成され、[通知（Notices）] ページで動作ステータスを確認することが通知されます。

次のタスク

ランダム ゲスト アカウントを生成する場合、電子メール アドレスや電話番号などのゲスト情報はありません。アカウント詳細を印刷し、ゲストに手動でログイン クレデンシャルを配信できます。50 を超えるアカウントを作成した場合、[通知（Notices）] ページで特定の通知を開き、最大 50 アカウントのアカウント詳細を表示します。作成したすべてのアカウントを確認するには、[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページに移動します。

関連トピック

ゲスト パスワードのプライバシー （9 ページ）

アカウント設定の作成 （10 ページ）

ゲスト アカウントのインポート

企業が外部データベースまたはファイルの承認された訪問者に対するアカウント情報を維持している場合、これらのユーザの情報をスポンサー ポータルにインポートしてゲスト アカウントを作成できます。アカウント情報が含まれるファイルは .csv ファイル形式である必要があります。これをスポンサーポータルが解析し、ファイル内の各エントリに対して新規ゲスト ユーザ アカウントを作成します。

始める前に

- ゲスト アカウント情報のインポートに必要な権限を持っているかを確認します。
- モバイル デバイス（Apple iOS、Android などが実行されているデバイス）からゲスト アカウント情報をインポートすることはできません。このため、アカウント情報をインポートする場合は、必ずデスクトップ デバイス（Apple OSX、Windows などが実行されているデバイス）を使用します。

ステップ 1 [アカウントの作成（Create Accounts）] ページで、[インポート（Import）] をクリックします。

システム管理者は、このページにどのフィールドを表示するか、およびゲスト アカウントを作成する場合にどのフィールドを必須とするかを設定します。一部のフィールドは必須（*が付いている）で、変更可能なデフォルトの情報が表示されます。

ステップ 2 ゲストに割り当てる [ゲスト タイプ（Guest Type）] を保持または更新します。

システム管理者が、各種のゲストのタイプとそのアクセス権限を定義します。

選択したゲスト タイプについて、ゲストがネットワークに同時に接続できるデバイスの最大数、およびネットワーク アクセスの最大時間が表示されます。

ステップ 3 [テンプレートのダウンロード（Download Template）] をクリックしてインポート ファイルに使用するテンプレートを取得します。ファイルをインポートする前に、ファイルが必須の構造に準拠していることを確認します。

ステップ 4 [参照（Browse）] をクリックして、ゲスト アカウントの作成に必須のゲスト情報が含まれる .csv ファイルを検索して選択します。

（注） .csv ファイルに英語以外の文字が含まれる場合は、ファイルをインポートする前に UTF-8 文字エンコーディングを有効にします。UTF-8 文字エンコーディングが有効になっていないと、英語以外の文字が正しく解析されません。

ステップ 5 必要に応じて必須設定のデフォルトを保持または更新し、その他のフィールドに情報を入力します。

システム管理者は、[言語（Language）]、[場所（Location）]、[SSID] に対して複数選択を設定できます。ただし、選択肢が 1 つのみ指定されている場合、それは表示されず、ゲスト アカウントを作成するときに

自動的に割り当てられます。アカウントが作成された後、ゲスト アカウント詳細でこの選択を確認できます。

（注） アカウント期間を設定する場合、定義する開始時刻および終了時刻は、選択した場所のタイムゾーンで適用できます。

ステップ 6 [インポート（Import）] をクリックして、外部データベースまたはファイルからアカウント情報をインポートします。
メッセージによって、アカウントがバックグラウンドで作成され、[通知（Notices）] ページで動作ステータスを確認することが通知されます。

次のタスク

これらの機能を使用できる場合は、ゲストに対してアカウント詳細を電子メールまたは印刷で通知できます。また、システム管理者がこの機能を有効にしている場合は、ゲストにアカウント詳細をテキスト メッセージで通知することもできます。

[通知（Notices）] ページで、特定の通知を開き、最大 50 アカウントのアカウント詳細を表示します。50 を超えるアカウントをインポートした場合は、[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページに移動して、作成されたすべてのアカウントを表示します。

関連トピック

ゲスト パスワードのプライバシー （9 ページ）
アカウント設定の作成 （10 ページ）

ゲスト パスワードのプライバシー

企業のネットワークおよび内部リソースにアクセスする必要がある、承認された訪問者のためのゲスト アカウントを作成できます。既知のゲストやランダムな複数のゲストのセットのためのアカウントを作成するか、または外部データベースからゲスト アカウントのバッチをインポートすると、Cisco ISE によって、これらのアカウントのパスワードが生成されます。

システム管理者が必要な権限を設定したユーザは、次の場合に、これらのシステムで生成されたパスワードを表示できます。

- 各アカウントのアカウント詳細でゲスト アカウントを管理する場合。
- ゲストに通知する際にアカウント詳細を通知することを選択している場合。

ただし、パスワード変更を許可されているゲストが、ゲスト ポータルにログインした後にパスワードを変更した場合、そのパスワードはプライベートと見なされ、表示できなくなります。

ゲストがパスワードを変更した後、忘れた場合は、ゲストにパスワードを再送信することはできません。ゲストのパスワードをランダム パスワードにリセットし、新しいパスワードをゲストに通知する必要があります。

アカウント設定の作成

ゲストアカウントを作成する際に、デフォルトをそのまま使用するか、これらの設定を変更できます。システム管理者は、情報を入力する必要がある追加設定を有効にすることができます。

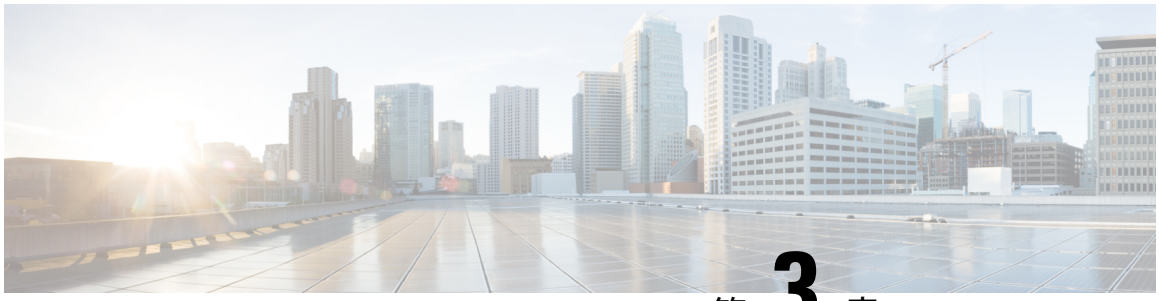
表 *1:* アカウント設定の作成

フィールド	使用上のガイドライン
ゲスト タイプ（Guest Type）	

フィールド	使用上のガイドライン
	ユーザが作成しているアカウントのゲスト タイプを選択します。システム管理者が 1 つのゲスト タイプのみを設定した場合、ゲスト アカウントの作成に使用できるのはこのタイプのみとなります。 Cisco ISE には、適切なネットワーク アクセス権限にゲストをマッピングするための、次のデフォルト ゲスト タイプが含まれます。 • [毎日（Daily）] : デフォルト設定で、ゲストは 1 ～ 5 日間ネットワークにアクセスできます。 • [毎週（Weekly）] : デフォルト設定で、ゲストは数週間ネットワークにアクセスできます。 • [コントラクタ（Contractor）] : デフォルト設定で、ゲストは最大 1 年間ネットワークにアクセスできます。 システム管理者は、このリストを制限したり、追加のゲスト タイプを作成したりすることができます。 システム管理者は、ゲスト タイプを [ゲストにゲスト ポータルのバイパスを許可（Allow guest to bypass the Guest portal）] に設定できます。この場合、このゲスト タイプを使用して作成されたゲスト アカウントは自動的に有効になり、ゲストが Cisco ISE Web ポータルにまだログインしていなくても、その状態は [アクティブ（Active）] として表示されます。このオプションが設定されていない場合、ゲストが Web ポータルに実際にログインし、初期状態が [作成済み（Created）] として表示されるまで、アカウントは有効になりません。

フィールド	使用上のガイドライン
SMS プロバイダー（SMS Provider）	このフィールドは、システム管理者によって複数の SMS プロバイダーが選択用に設定されている場合にのみ表示されます。1 つのプロバイダーのみが設定されている場合、スポンサー ポータルに使用できるオプションは 1 つのみであるため、表示されません。 ゲストの携帯電話プロバイダーがわかっており、[SMS プロバイダー（SMS Provider）] の下に表示される場合は、それを選択し、SMS 通知をログイン クレデンシャルとともにゲストに送信します。携帯電話プロバイダーが表示されない場合は、表示されているデフォルトのグローバル プロバイダーを選択します。デフォルトのグローバル プロバイダーを使用する場合は、ゲストの電話番号の国番号が含まれます。サポートされる電話番号の形式には、+1 ### ### ####、###-###-####、(###) ### ####、##########、1########## などがあります。
グループ タグ（Group Tag）	トラッキングや検索のために、特定のゲスト アカウントをグループ化します。たとえば、特定の場所でのトレーニングに参加するすべてのゲストにタグを割り当てることができます。ゲストを検索して、トレーニングが時間内に終了しなかった場合にアカウント有効期間を延長したり、トレーニングの終了後にアカウントを削除したりすることができます。
参照先	このフィールドは、システム管理者によって複数の場所が選択用に設定されている場合にのみ表示されます。1 つの場所のみが設定されている場合、スポンサー ポータルに使用できるオプションは 1 つのみであるため、表示されません。 ゲスト アカウントに使用する場所を選択します。ゲストに適用するタイム ゾーンを決定します。また、そのアカウントに適用する有効な時間範囲およびその他の時間パラメータを定義するのに役立ちます。 ゲスト アカウントの残り時間は、スポンサーの現地時間ではなく、ゲスト アカウントに割り当てられた特定の場所に関連付けられます。

フィールド	使用上のガイドライン
SSID	このフィールドは、システム管理者によって複数のSSIDが選択用に設定されている場合にのみ表示されます。1 つの SSID のみが設定されている場合、スポンサー ポータルに使用できるオプションは 1 つのみであるため、表示されません。 ゲストがログインするネットワークのSSIDを選択します。このSSIDは、ゲストに送信されるアカウント通知に含まれます。
[言語（Language）]	このフィールドは、システム管理者によって複数の言語が選択用に設定されている場合にのみ表示されます。1つの言語のみが設定されている場合、スポンサー ポータルに使用できるオプションは 1 つのみであるため、表示されません。 アカウント通知（電子メール、テキスト メッセージ、印刷）をゲストに送る際に使用する言語を選択します。
日数、開始日、終了日、開始時刻、終了時刻（Days; From date, To date; From time, To time）	ゲストがネットワークにアクセスできるアカウント有効期間を、最大日数、日付、および時間で定義します。時間が、システム管理者が定義した最大時間を超えないことを確認してください。



第 3 章

ゲスト アカウントの管理

- スポンサー ポータルの [アカウントの管理（Manage Accounts）] ページ （15 ページ）
- ゲスト アカウントの編集 （16 ページ）
- ゲスト パスワードの再送信 （16 ページ）
- ゲスト アカウント有効期間の延長 （17 ページ）
- 中断されたおよび期限切れのゲスト アカウント （18 ページ）
- ゲスト アカウントの中断 （18 ページ）
- ゲスト アカウントの削除 （19 ページ）
- ゲスト パスワードのリセット （19 ページ）
- ゲスト アカウントの再開 （20 ページ）
- [アカウントの管理（Manage Accounts）] ページの詳細 （21 ページ）
- アカウントの状態の管理 （22 ページ）

スポンサー ポータルの [アカウントの管理（Manage Accounts）] ページ

[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページで、作成したゲスト アカウントや管理する権限を持つ他の任意のアカウントを管理できます。

- ゲスト アカウントの編集および削除
- ゲスト アカウント有効期間の延長
- ゲスト アカウントの中断
- 期限切れのゲスト アカウントの復元
- ゲストのパスワードの再送信およびリセット

ゲスト アカウントの編集

ゲスト アカウントは、それが置かれた状態に関係なく編集できます。

ステップ 1 [アカウントの管理（Manage Accounts）] ページで、編集するゲスト アカウントを選択します。

ステップ 2 [編集（Edit）] をクリックします。

ステップ 3 表示するフィールドを編集します。

たとえば、最初にゲスト アカウントを作成したときに保持した [言語（Language）] および [場所（Location）] のデフォルトを変更できます。最初にランダム ゲスト アカウントを作成したときに使用できなかった、名前、電子メール アドレス、電話番号などの情報を追加することもできます。アカウント期間を変更（短縮または延長）すると、残り時間は、スポンサーの現地時間ではなく、アカウントに割り当てられた特定の場所に基づいて変更されます。

ステップ 4 [保存（Save）] をクリックします。

ステップ 5 アカウント情報に加えた変更を確認します。

関連トピック

[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページの詳細 （21 ページ）
アカウントの状態の管理 （22 ページ）

ゲスト パスワードの再送信

ゲストは、パスワードを忘れたためにネットワークにログインできなくなることがあります。元のパスワードを再送信することで、このようなゲストのネットワークへのアクセスを回復することができます。

始める前に

- パスワードを変更したゲストにパスワードを再送信することはできません。これらのゲストが新しいパスワードを忘れた場合、パスワードをリセットしてゲストに通知する必要があります。
- [作成済み（Created）] または [アクティブ（Active）] のアカウントのパスワードを再送信できます。
- [承認保留中（Pending Approval）]、[中断（Suspended）]、[期限切れ（Expired）] または [拒否済み（Denied）] のアカウントのパスワードは再送信できません。

ステップ 1 [アカウントの管理（Manage Accounts）] ページで、パスワードを再送信するゲスト アカウントを選択します。

ステップ 2 [再送信（Resend）] をクリックして、ゲストにアカウント詳細を再送信します。

ステップ 3 [再送信（Resend）] のポップアップ ウィンドウで、さまざまな通知オプション（ゲストとスポンサーの両方）を選択して [OK] をクリックします。

ゲストに通知を送信するときに、自分にもアカウント情報を送信するためのオプションがあります。

- [概要を送信（Send me a summary）]：ゲスト名とパスワードをリストします。管理者によってブロックされた場合はパスワードは表示されません。
- [自分にコピー（Copy me）]：ゲストに送信したものと同じ電子メールを自分に送信します。管理者によってブロックされた場合はパスワードは表示されません。

関連トピック

[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページの詳細 （21 ページ）
アカウントの状態の管理 （22 ページ）

ゲスト アカウント有効期間の延長

最初に許可された期間よりも長くネットワークにアクセスできるように、アカウントの有効期限が切れる前または有効期限が切れた後に、ゲストのアカウント有効期間を延長できます。また、ゲスト アカウントを編集するときにアカウント有効期間を延長することもできます。

有効期限が切れたゲストアカウントは、ネットワークに接続できなくなります。システムから期限切れアカウントをすべて削除（パージ）する自動プロセスが（システム管理者によって設定された条件に基づいて）周期的に実行されます。期限切れアカウントのアカウント有効期間を延長する前に自動プロセスが起動した場合は、これらのゲストの新規アカウントを作成する必要があります。

始める前に

- [作成済み（Created）]、[アクティブ（Active）]、または [期限切れ（Expired）] のアカウントを延長できます。
- [中断（Suspended）] または [拒否済み（Denied）] のアカウントは延長できません。再開できます。

ステップ 1 [アカウントの管理（Manage Accounts）] ページで、延長するゲスト アカウントを選択します。

ステップ 2 [延長（Extend）] をクリックします。

ステップ 3 延長情報を入力し、[OK] をクリックします。
[有効期限（Expiration Date）] および [残り時間（Time Left）] は、新しい期間で自動的に更新されます。残り時間は、スポンサーの現地時間ではなく、ゲスト アカウントに割り当てられた特定の場所に関連付けられます。

ステップ 4 期限切れのアカウント期間が延長されていること、およびその状態が次のようにリセットされていることを確認します。

- 承認待機中のアカウントの場合、[承認保留中（Pending Approval）] になります。
- クレデンシャルを持つゲスト ポータルをバイパスするように設定されているアカウントの場合、[アクティブ（Active）] になります。
- クレデンシャルを持つゲスト ポータルをバイパスするように設定されていないアカウントの場合、[作成済み（Created）] になります。

関連トピック

[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページの詳細 （21 ページ）
アカウントの状態の管理 （22 ページ）

中断されたおよび期限切れのゲスト アカウント

ゲストアカウントがユーザによって手動で中断されたか、期限切れになると、影響を受けるゲストはネットワークから切断され、アクセスできなくなります。

アクティブ、保留などの状態に関係なく、ゲストアカウントは、アカウントを作成したときに定義したアカウント有効期間の終了に達すると、期限切れになります。

中断されたおよび期限切れのアカウントは、システム管理者が定義したスケジュールに基づいて自動的にパージされますが、デフォルトでは15日ごとです。アカウントがパージされたら、そのゲストに対して新規アカウントを作成する必要があります。ただし、パージされる前に、中断されたアカウントを再開し、期限切れのアカウントを延長することができます。

ゲスト アカウントの中断

ネットワークから切断し、ゲストをネットワークにアクセスできないようにして、ゲストのアカウントを中断できます。ただし、アカウントは Cisco ISE データベースに保持されます。

始める前に

- [作成済み（Created）] または [アクティブ（Active）] のアカウントを中断できます。
- [承認保留中（Pending Approval）]、[期限切れ（Expired）]、または [拒否済み（Denied）] のアカウントは中断できません。

ステップ 1 [アカウントの管理（Manage Accounts）] ページで、中断するゲスト アカウントを選択します。

ステップ 2 [中断（Suspend）] をクリックします。システム管理者によって設定されている場合、中断の理由を示すように求められることがあります。

ステップ 3 [OK] をクリックして確認します。

ステップ 4 アカウントが [中断（Suspended）] として表示されていることを確認します。

関連トピック

[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページの詳細 （21 ページ）
アカウントの状態の管理 （22 ページ）

ゲスト アカウントの削除

ゲスト アカウントは、それが置かれた状態に関係なく削除できます。

ステップ 1 [アカウントの管理（Manage Accounts）] ページで、削除するゲスト アカウントを選択します。
ステップ 2 [削除（Delete）] をクリックします。
ステップ 3 [OK] をクリックして確認します。
ステップ 4 アカウントがアカウント リストに表示されなくなったことを確認します。

関連トピック

[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページの詳細 （21 ページ）
アカウントの状態の管理 （22 ページ）

ゲスト パスワードのリセット

ゲストは、パスワードを忘れたためにネットワークにログインできなくなることがあります。パスワードをリセットすることで、このようなゲストのネットワークへのアクセスを回復することができます。

始める前に

- ゲストがパスワードを変更したかどうかに関係なく、パスワードをリセットできます。
- [作成済み（Created）] または [アクティブ（Active）] のアカウントのパスワードをリセットできます。
- [承認保留中（Pending Approval）]、[中断（Suspended）]、[期限切れ（Expired）]、または [拒否済み（Denied）] のアカウントのパスワードはリセットできません。

ステップ 1 [アカウントの管理（Manage Accounts）] ページで、パスワードをリセットするゲスト アカウントを選択します。
ステップ 2 [パスワードのリセット（Reset Password）] をクリックして、ランダム システム パスワードを生成します。リセットを確認し、電子メール、テキスト メッセージ、印刷のどの方法でゲストに新しいアカウント詳細を通知するかを選択するように求められます。

ステップ 3 [パスワードのリセット（Reset Password）]のポップアップ ウィンドウで、さまざまな通知オプション（ゲストとスポンサーの両方）を選択して [OK] をクリックします。

ゲストに通知を送信するときに、自分にもアカウント情報を送信するためのオプションがあります。

- [概要を送信（Send me a summary）]：ゲスト名とパスワードをリストします。管理者によってブロックされた場合はパスワードは表示されません。
- [自分にコピー（Copy me）]：ゲストに送信したものと同じ電子メールを自分に送信します。管理者によってブロックされた場合はパスワードは表示されません。

関連トピック

[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページの詳細 （21 ページ）
アカウントの状態の管理 （22 ページ）

ゲスト アカウントの再開

以前中断したゲスト アカウントまたは承認を拒否したゲスト アカウントを再開できます。

始める前に

- [中断（Suspended）] または [拒否済み（Denied）] のアカウントを再開できます。
- [作成済み（Created）]、[アクティブ（Active）]、[承認保留中（Pending Approval）]、または [期限切れ（Expired）] のアカウントは再開できません。

ステップ 1 [アカウントの管理（Manage Accounts）] ページで、再開するゲスト アカウントを選択します。

ステップ 2 [再開（Reinstate）] をクリックします。

ステップ 3 [OK] をクリックして確認します。

ステップ 4 アカウントが再開され、その状態が次のようにリセットされていることを確認します。

- [中断（Suspended）] アカウントの場合、[作成済み（Created）] または [アクティブ（Active）] になります。中断されている間に期限切れになった場合、アカウントは [期限切れ（Expired）] に変わります。
- [拒否済み（Denied）]アカウントの場合、[作成済み（Created）]または[アクティブ（Active）]になります。拒否されている間に期限切れになった場合、アカウントは [期限切れ（Expired）] に変わります。

関連トピック

[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページの詳細 （21 ページ）
アカウントの状態の管理 （22 ページ）

[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページの詳細

[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページでは、作成したゲスト アカウントおよびシステム管理者が設定した権限に基づくその他のアカウントを管理できます。

次の設定を使用して、ゲスト アカウントを管理します。

表 *2 : [アカウントの管理（Manage Accounts）] ページの詳細*

操作	使用上のガイドライン	対象となるアカウントの状態
編集（Edit）	選択したアカウントに変更を加えます。	すべて（[中断（Suspended）]、[拒否済み（Denied）] を除く）
再送信	選択したゲストのアカウント詳細を電子メールまたはテキスト メッセージで送信、あるいは印刷します。	[アクティブ（Active）]、[作成済み（Created）]
延長（Extend）	アクセス期間を調整するか、選択した期限切れゲスト アカウントを再アクティブ化します。	[アクティブ（Active）]、[作成済み（Created）]、[期限切れ（Expired）]
中断（Suspend）	システムから削除せずに選択したゲスト アカウントを無効にします。 アカウントを中断する理由を入力するように求められることがあります。	[アクティブ（Active）]、[作成済み（Created）]
削除（Delete）	選択したゲスト アカウントを Cisco ISE データベースから削除します。	すべて（All）
パスワードのリセット（Reset Password）	選択したゲスト パスワードをランダム パスワードにリセットし、アカウント詳細をゲストに通知します。	[アクティブ（Active）]、[作成済み（Created）]
復元（Reinstate）	選択した中断されたゲスト アカウントを有効にし、前に拒否されたアカウントを承認します。	[中断（Suspended）]、[拒否済み（Denied）]
更新（Refresh）	表示されたアカウントに変更を表示します。	N/A

アカウントの状態の管理

アカウントの状態には、ゲスト アカウントに関する詳細が表示されます。

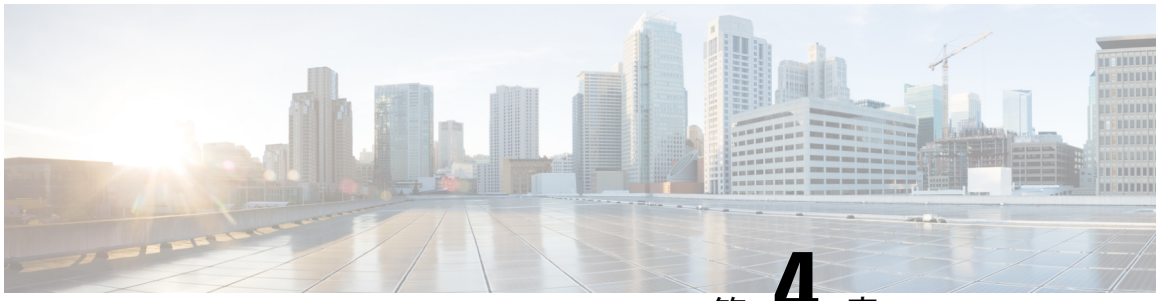
アカウントを削除するとこのページに表示されなくなり、Cisco ISE データベースから削除されます。

表 *3:* アカウントの状態の管理

現在の状態	説明	新しい状態
Active	これらのアカウントのゲストは、クレデンシャルを持つゲストポータルを介して正常にサインインしているか、クレデンシャルを持つゲストキャプティブ ポータルをバイパスしています。 後者の場合、アカウントは、クレデンシャルを持つゲスト キャプティブポータルをバイパスするように設定されたゲストタイプに属します。これらのゲストは、デバイス上のネイティブ サプリカントにログイン クレデンシャルを提供することでネットワークにアクセスできます。	アカウントの状態は、それらに対して実行される操作に基づいて変化します。
作成済み（Created）	アカウントは作成されていますが、ゲストはクレデンシャルを持つゲストポータルにまだログインしていません。 この場合、アカウントは、クレデンシャルを持つゲストキャプティブ ポータルをバイパスするように設定されていないゲストタイプに割り当てられます。ゲストは、ネットワークの他の部分にアクセスする前に、まずクレデンシャルを持つゲストキャプティブ ポータルを介してサインインする必要があります。	アカウントの状態は、それらに対して実行される操作に基づいて変化します。

現在の状態	説明	新しい状態
拒否済み（Denied） 拒否済み状態の間に期限切れになったアカウントは、[拒否済み（Denied）] のままになります。	アカウントは、ネットワークへのアクセスを拒否されています。	拒否されたアカウントを再開すると、その状態は次のように変化します。 • 割り当てられたゲスト タイプ設定に基づき、[アクティブ（Active）] または [作成済み（Created）]。 • [期限切れ（Expired）]。拒否中に期限切れになると、次のパージ サイクルでパージされます。 再開されていないすべての拒否されたアカウントは、次のパージサイクルでパージされます。期限切れの拒否されたアカウントは延長（再アクティブ化）できません。新しいアカウントを作成する必要があります。
期限切れ	アカウント期間が終了しました。	有効期限が切れていないアカウントを延長した場合、その状態は変化しません。 期限切れのアカウントを延長（再アクティブ化）すると、その状態は次のように変化します。 • ゲストがクレデンシャルを持つゲスト キャプティブ ポータルをバイパスするように設定されている場合は、[アクティブ（Active）]。 • ゲストがバイパスするように設定されていない場合は、前の状態。

現在の状態	説明	新しい状態
承認保留中（Pending Approval）	アカウントは、ネットワークへのアクセスの承認待機中です。	承認されると、ゲスト タイプ設定に基づいて、アカウントは [アクティブ（Active）] または [作成済み（Created）] になります。拒否されると、[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページに [拒否済み（Denied）] と表示されます。
中断（Suspended） 中断中に期限切れになったアカウントは、[中断（Suspended）] のままになります。	アカウントは、中断の権限を持つユーザまたは別のスポンサーによって中断されています。	中断したアカウントを再開すると、その状態は次のように変化します。 • アカウントの有効期限が切れていない場合は、前の状態。 • [期限切れ（Expired）]。中断中に期限切れになると、次のパージ サイクルでパージされます。ただし、次のパージ サイクルよりも前にこれらのアカウントを延長できます。



第 4 章

保留中のゲスト アカウント

- スポンサー ポータルの [保留中のアカウント（Pending Accounts）] ページ （25 ページ）
- 保留中のアカウントの承認 （25 ページ）
- 保留中のアカウントの拒否 （26 ページ）
- [保留中のアカウント（Pending Accounts）] ページの詳細 （27 ページ）
- 保留中のアカウントの状態 （27 ページ）

スポンサー ポータルの [保留中のアカウント（Pending Accounts）] ページ

[保留中のアカウント（Pending Accounts）] ページを使用すると、スポンサーの承認を待っているアカウント登録ゲストのアカウントを、ネットワーク アクセスがそのアカウントに許可される前に処理できます。次の操作を実行できます。

- 1 つ、複数、またはすべての保留中のアカウントの承認。
- 1 つ、複数、またはすべての保留中のアカウントの承認拒否。

保留中のアカウントの承認

[承認保留中（Pending Approval）] または [拒否済み（Denied）] として表示されているアカウントを承認し、ゲストにネットワークへのアクセス権を提供できます。

始める前に

デスクトップデバイスで、複数のチェックボックスをオンにするか、すべてのチェックボックスの選択を使用して、複数のゲスト アカウントを同時に選択することができます。モバイル デバイスを使用している場合は、個別のアカウントを選択し、1 つずつ承認できます。

ステップ 1 [保留中のアカウント（Pending Accounts）] ページで、次の操作を実行します。

- 単一のページの複数のゲスト アカウントを承認する場合は、特定のアカウントを選択し、[承認（Approve）] をクリックしてから次のページに移動します。
- 単一のページのすべてのゲスト アカウントを承認する場合は、リストの上のすべてのチェックボックスの選択をオンにして [承認（Approve）] をクリックします。このことによって、他のページのゲスト アカウントは選択されません。

ステップ 2 選択したアカウントを承認することを確認し、[OK] をクリックします。
承認されたアカウントは [保留中のアカウント（Pending Accounts）] ページに表示されなくなりますが、[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページに表示されます。

次のタスク

[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページで、承認済みのアカウントが [作成済み（Created）] または [アクティブ（Active）] として表示されていることを確認します。承認の待機中にアカウントの有効期限が切れた場合は、このページに [期限切れ（Expired）] として表示され、[保留中のアカウント（Pending Accounts）] ページに表示されなくなります。

関連トピック

[保留中のアカウント（Pending Accounts）] ページの詳細 （27 ページ）
保留中のアカウントの状態 （27 ページ）

保留中のアカウントの拒否

[承認保留中（Pending Approval）] または [承認済み（Approved）] として表示されているアカウントの承認を拒否し、ゲストのネットワークへのアクセスを防止できます。

始める前に

デスクトップデバイスで、複数のチェックボックスをオンにするか、すべてのチェックボックスの選択を使用して、複数のゲスト アカウントを同時に選択することができます。モバイル デバイスを使用する場合は、個別のアカウントを選択し、1 つずつ拒否することのみができます。

ステップ 1 [保留中のアカウント（Pending Accounts）] ページで、次の操作を実行します。

- 単一のページの複数のゲストアカウントの承認を拒否する場合は、特定のアカウントを選択し、[拒否（Deny）] をクリックしてから次のページに移動します。
- 単一のページのすべてのゲスト アカウントの承認を拒否する場合は、リストの上のすべてのチェックボックスの選択をオンにして [拒否（Deny）] をクリックします。このことによって、他のページのゲスト アカウントは選択されません。

ステップ 2 選択したアカウントの承認を拒否することを確認し、[OK] をクリックします。

拒否されたアカウントは、ページを閉じるまで [保留中のアカウント（Pending Accounts）] ページに [拒否済み（Denied）] と表示されます。その後、[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページに [拒否済み（Denied）] として表示されます。

次のタスク

[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページに、承認が拒否されたアカウントが [拒否済み（Denied）] として表示されていることを確認します。承認を待機している間に拒否されたカウントの有効期限が切れた場合は、[期限切れ（Expired）] として表示されます。

関連トピック

[保留中のアカウント（Pending Accounts）] ページの詳細 （27 ページ）
保留中のアカウントの状態 （27 ページ）

[保留中のアカウント（Pending Accounts）] ページの詳細

[保留中のアカウント（Pending Accounts）]ページでは、アカウント登録ゲストに対して作成されたゲスト アカウントのネットワーク アクセスを承認または拒否することができます。

これらの設定を使用して、アカウント登録ゲストのネットワーク アクセスを承認または拒否します。リストの上のすべてのチェックボックスの選択をオンにして、特定ページのみすべてのアカウントを選択します。このことによって、他のページのアカウントは選択されません。

表 *4 : [*保留中のアカウント（*Pending Accounts***）*]* ページの詳細**

操作	使用上のガイドライン	対象となるアカウントの状態
承認	1 つまたは複数のゲスト アカウントのネットワーク アクセスを承認します。	[承認保留中（Pending Approval）]、[拒否済み（Denied）]
拒否（Deny）	1 つまたは複数のゲスト アカウントに対するネットワーク アクセスの承認を拒否します。	[承認保留中（Pending Approval）]

保留中のアカウントの状態

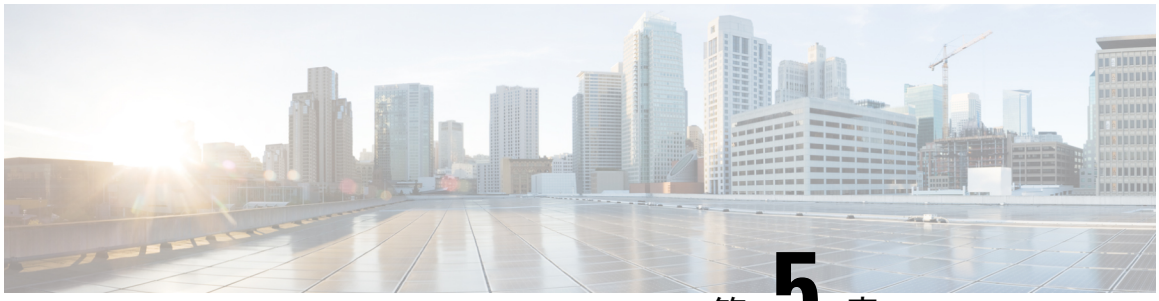
アカウントの [状態（State）]には、保留中のゲストアカウントに関する詳細が表示されます。

アカウントを承認すると、このページには表示されなくなりますが、[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページに [アクティブ（Active）]、[作成済み（Created）]、または [期限切れ（Expired）] として表示されます。

表 *5:* 保留中のアカウントの状態

現在の状態（**Current State**）	説明	新しい状態
拒否済み（Denied） 拒否済み状態の間に期限切れになったアカウントは、[拒否済み（Denied）] のままになります。	アカウントは、ネットワークへのアクセスを拒否されています。	拒否されたアカウントを承認すると、[保留中のアカウント（Pending Accounts）] ページに表示されなくなります。それらは、[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページに表示され、その状態は次のように変化します。 • 割り当てられたゲスト タイプ設定に基づき、[アクティブ（Active）] または [作成済み（Created）]。 • [期限切れ（Expired）]。承認待機中に期限切れになると、次のパージ サイクルでパージされます。 承認されていないすべての拒否されたアカウントも、次のパージサイクルでパージされます。

現在の状態（**Current State**）	説明	新しい状態
承認保留中（Pending Approval） 承認待機中に期限切れになったアカウントは、[承認保留中（Pending Approval）] のままになります。	アカウントは、ネットワークへのアクセスの承認待機中です。	承認保留中のアカウントを承認すると、[保留中のアカウント（Pending Accounts）] ページに表示されなくなります。それらは、[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページに表示され、その状態は次のように変化します。 • 割り当てられたゲスト タイプ設定に基づき、[アクティブ（Active）] または [作成済み（Created）]。 • [期限切れ（Expired）]。承認待機中に期限切れになると、次のパージ サイクルでパージされます。 承認保留中のアカウントの承認を拒否すると、[保留中のアカウント（Pending Accounts）] ページでその状態が [拒否済み（Denied）] に変わり、ページを閉じるまで維持されます。その後、[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページに [拒否済み（Denied）] として表示されます。 すべての拒否されたアカウントは、次のパージサイクルでパージされます。



第 5 章

通知

- ランダムおよびインポートされたゲスト アカウント作成時の通知 （31 ページ）
- 既知のゲストへのアカウント詳細の提供 （32 ページ）
- ランダム ゲスト アカウント詳細の表示および提供 （33 ページ）
- インポートされたゲスト アカウント詳細の表示および提供 （34 ページ）

ランダムおよびインポートされたゲストアカウント作成時の通知

次の場合、アカウント詳細はスポンサー ポータルにすぐに表示されません。

- 50 を超えるランダム ゲスト アカウントを同時に作成する場合。
- 情報をインポートして 1 つ以上のゲスト アカウントを作成する場合。

代わりに、Cisco ISE によってバックグラウンドでこれらのゲスト アカウントが作成されている間に、スポンサー ポータルで他の操作を継続できます。アカウント詳細を含む通知がないかどうか、[通知（Notices）] ページを定期的に確認する必要があります。

[通知（Notices）] ページで、通知を選択し、新しく作成されたアカウントの概要を表示します。この概要は [アカウントの管理（Manage Accounts）] ページにも表示されます。電子メール、SMS（テキストメッセージ）、印刷などのさまざまな方法を選択して、アカウント詳細およびログイン クレデンシャルをゲストおよび自分自身に提供することができます。

関連トピック

既知のゲストへのアカウント詳細の提供 （32 ページ）
ランダム ゲスト アカウント詳細の表示および提供 （33 ページ）
インポートされたゲスト アカウント詳細の表示および提供 （34 ページ）

既知のゲストへのアカウント詳細の提供

システム管理者によるスポンサー ポータルの設定に応じて、ゲストに対してアカウント詳細を電子メールまたはテキスト メッセージで送信、あるいは印刷できます。システム管理者は、パスワードとは別にゲストにユーザ名を送信するように、電子メールおよびテキスト メッセージによる通知を設定することもできます。

始める前に

- 個人情報を使用できるゲスト用のアカウントを作成している必要があります。
- ゲストに電子メールまたは印刷による通知を提供するには、これらの機能を使用できる必要があります。
- ゲストにテキスト メッセージで通知を送信するには、システム管理者が、ユーザが属するスポンサー グループに対して SMS 機能を有効にする必要があります。
- ゲストに電子メールまたはテキスト メッセージで通知を送信する場合、そのゲストのアカウントに電子メール アドレスまたは電話番号が関連付けられている必要があります。

ステップ 1 既知のゲスト用に作成されたアカウントが表示される [アカウント情報（Account Information）] ダイアログ ボックスのアカウントで、次の操作を実行できます。

- [通知（Notify）] をクリックして、ゲストにアカウント詳細を送信します。[通知（Notify）] ダイアログ ボックスに追加オプションが表示されます。
- ゲストの通知を送信しない場合は、[完了（Done）] をクリックします。

ステップ 2 [通知（Notify）] ダイアログ ボックスで、システム管理者が設定した通知オプションによって次の操作を実行できます。

- ゲストがアカウント情報の印刷版を使用できるようにするには、[印刷（Print）] をオンにします。このオプションは、モバイル デバイスのスポンサー ポータルにアクセスしている場合は使用できません。
- アカウント情報が含まれた SMS 通知をゲストに送信するには、[SMS] をオンにします。
- アカウント情報が含まれた電子メール通知をゲストに送信するには、[電子メール（Email）] をオンにします。
- [電子メール（Email）] を有効にした場合、[コピー（Copy me）] をオンにして、作成したゲスト アカウントのアカウント詳細が含まれた電子メールを受信する [電子メール アドレス（Email address）] を入力します。

ステップ 3 [OK] をクリックして通知を送信するか、通知を送信しない場合は [キャンセル（Cancel）] をクリックします。

ランダム ゲスト アカウント詳細の表示および提供

ランダムに作成されたゲスト アカウントは、電子メールまたはテキスト メッセージで通知を送信することはできません。これらのゲストにはアカウント情報の印刷版を提供できます。ただし、作成されたアカウントは、編集したり、電子メールアドレスや電話番号を追加したりできます。その後、この情報を使用して、ゲストに電子メールおよびテキストメッセージで通知を送信できます。

始める前に

- 50 を超えるランダム ゲスト アカウントを同時に作成している必要があります。
- ゲストに電子メールまたは印刷による通知を提供するには、これらの機能を使用できる必要があります。
- ゲストにテキストメッセージで通知を送信するには、システム管理者が、ユーザが属するスポンサー グループに対して SMS 機能を有効にする必要があります。
- ゲストに電子メールまたはテキストメッセージで通知を送信する場合、そのゲストのアカウントに電子メール アドレスまたは電話番号が関連付けられている必要があります。

ステップ 1 [通知（Notices）] ページで、通知を開いて、新しく作成されたランダム ゲスト アカウントのアカウント詳細の概要を表示します。
[アカウント情報（Account Information）] ダイアログ ボックスに、作成された最大 50 のアカウントと、これらのアカウントに関連付けられたユーザ名およびパスワードが表示されます。50 を超えるランダム アカウントを作成した場合は、[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページに移動して、作成されたすべてのアカウントを表示します。

ステップ 2 [アカウント情報（Account Information）] ダイアログ ボックスで、次の操作を実行できます。

- [印刷（Print）] をクリックして、ゲストがアカウント詳細の印刷版を使用できるようにします。印刷ジョブがバックグラウンドで実行され、印刷ジョブに関する別の通知を受信することが、メッセージによって示されます。

  （注） どのアカウントがアカウント作成通知に表示されているかに関係なく、新しく作成されたすべてのアカウントが印刷されます。

- この時点でゲストにログイン クレデンシャルを提供しない場合は、[完了（Done）] をクリックします。通知は [通知（Notices）] ページに保持されます。
- 情報が必要でない場合は、[通知の削除（Delete Notice）] をクリックします。

次のタスク

[通知（Notices）]ページで、印刷の通知を開き、選択したアカウントが正常に印刷されたかどうかを表示します。各アカウントは別々に印刷されるため、個別のゲストにログイン クレデンシャルを提供できます。

インポートされたゲストアカウント詳細の表示および提供

システム管理者によるスポンサーポータルの設定に応じて、ゲストに対してアカウント詳細を電子メールまたはテキストメッセージで送信、あるいは印刷できます。システム管理者は、パスワードとは別にゲストにユーザ名を送信するように、電子メールおよびテキストメッセージによる通知を設定することもできます。

始める前に

- 複数のゲストアカウントを作成するには、.csv ファイルからゲストの情報をインポートしている必要があります。
- ゲストに電子メールまたは印刷による通知を提供するには、これらの機能を使用できる必要があります。
- ゲストにテキストメッセージで通知を送信するには、システム管理者が、ユーザが属するスポンサー グループに対して SMS 機能を有効にする必要があります。
- ゲストに電子メールまたはテキストメッセージで通知を送信する場合、そのゲストのアカウントに電子メール アドレスまたは電話番号が関連付けられている必要があります。

ステップ 1 [通知（Notices）] ページで、通知を開いて、新しく作成されたインポート済みゲスト アカウントのアカウント詳細の概要を表示します。
[アカウント情報（Account Information）] ダイアログ ボックスに、作成された最大 50 のアカウント、アカウントに関連付けられたユーザ名およびパスワード、およびインポート時に使用可能だったその他のゲスト情報が表示されます。50 を超えるアカウントをインポートした場合は、[アカウントの管理（Manage Accounts）] ページに移動して、作成されたすべてのアカウントを表示します。

ステップ 2 [アカウント情報（Account Information）] ダイアログ ボックスで、次の操作を実行できます。

- この時点でゲストにログイン クレデンシャルを提供しない場合は、[完了（Done）] をクリックします。通知は [通知（Notices）] ページに保持されます。
- 情報が必要ない場合は、[通知の削除（Delete Notice）] をクリックします。
- [通知（Notify）] をクリックして、ゲストにアカウント詳細を提供します。[通知（Notify）] ダイアログ ボックスに、システム管理者が設定した通知オプションが表示されます。

（注） どのアカウントがアカウント作成通知に表示されているかに関係なく、新しく作成されたすべてのアカウントが通知されます。

ステップ 3 インポートされたゲスト用に作成されたアカウントが表示される [通知（Notify）] ダイアログ ボックスで、次の操作を実行できます。

- ゲストがアカウント情報の印刷版を使用できるようにするには、[印刷（Print）] をオンにします。このオプションは、モバイル デバイスのスポンサー ポータルにアクセスしている場合は使用できません。
- アカウント情報が含まれた SMS 通知をゲストに送信するには、[SMS] をオンにします。
- 電子メール通知を送信するには、[電子メール（Email）] をオンにします。ゲストおよび自分に電子メールを送信するには、このオプションを有効にする必要があります。
- アカウント情報が含まれた電子メール通知をゲストに直接送信するには、[作成されたアカウント（Accounts Created）] をオンにします。
- ゲスト アカウント情報が含まれた電子メールを受信するには、[コピー（Copy me）] をオンにして、[電子メール アドレス（Email address）] を入力します。ゲストへの直接通知を選択しなくても、このオプションを選択できます。

ステップ 4 [通知（Notify）] をクリックして通知を送信するか、通知を送信しない場合は [完了（Done）] をクリックします。